

特殊詐欺や悪質商法などその手口は年々複雑・巧妙化し、合わせて成年年齢引き下げに伴う消費者被害の拡大が懸念されることから、被害防止に向けた情報発信と注意喚起による消費者保護の取り組みを継続してまいります。

(10) 消防・救急体制の充実

高齢化や社会環境の変化に合わせ、町民が安心して暮らせるまちづくりのために、消防力の強化が必要であり、安全装備品や救命資機材、消防水利を計画的に更新してまいります。

令和5年度は、当町において渡島管内の消防団員が集結し、渡島地方消防総合訓練大会が開催されます。多くの町民に消防団員の訓練成果を見ていただき、合わせて消防団員の加入促進を図り、資質の更なる向上と士気の高揚を深めてまいります。

また、福利厚生として、短期人間ドックを実施し、病状を早期に発見し治療することで、災害時における公務災害の未然防止や健康管理にも努めてまいります。

年々増加している、救急出動事案に対応するため、消防学校や病院実習における各種教育プログラムへ参加し、救急隊員へ指導教育できる救命士を作り、再教育に努めてまいります。

火災予防等の推進については、各事業所等における避難訓練を実施し、防災意識の高揚を図るとともに、一人暮らし高齢者への防火訪問を継続的に実施し、更なる火災予防や防災意識の高揚に努めてまいります。

(11) 防災体制の強化

地域防災力の向上と災害に強い安心な地域づくりを進めるため、引き続き災害時備蓄計画に基づき、備蓄資機材等の整備を継続してまいります。

また、災害対策基本法の改正による避難指示の一本化、日本海溝沖地震における推進計画の作成が求められることから、地域防災計画の改定を行います。

防災に対する意識の向上、啓発については、防災教育や防災訓練を通じて「自助」「共

助」「公助」の役割分担や相互連携の浸透を図るなど、防災体制の確立に努めてまいります。

熊石地域では、津波災害時の指定避難所の確保・充実を図ることから、避難施設の整備費用に対して町内会への補助を行い、災害時における地域住民の安全対策を進めてまいります。

河川および排水路については、施設の老朽化による劣化・損傷などは計画的に修繕を実施して適切な維持管理を行うとともに、令和5年度については、局地的豪雨による滞水被害対策として雨水ポンプなどを整備して排水機能を保持し、被害を未然に防止するよう努めてまいります。

2. 八雲の豊かな資源を活用した産業振興

(1) 農林業の振興

農業を取り巻く情勢は、新型コロナウイルス感染症による消費の低迷や国際情勢を背景とした生産資材の高騰などにより、大変厳しい状況にあ

りますが、地域経済の基礎を担う農業の持続的発展が図られるよう、生産者、関係機関、団体等との連携のもと、国や北海道の補助制度も活用しながら、農業基盤の整備やそれぞれの経営体ごとの生産拡大と所得の増加に向けた取り組みを推進してまいります。

地域農業の担い手の確保・育成対策は、「株式会社 青年舎 大関牧場」を核として、各種の長期・短期研修生を受け入れるとともに、関係機関で組織する「八雲町農業担い手育成センター」を中心とした取り組みを進め、多様な担い手の確保・育成に努めてまいります。

令和元年度に策定した「八雲町バイオマス産業都市構想」の中間見直しを行い、家畜ふん尿等のバイオマス資源の有効利用による再生可能エネルギーの活用と二酸化炭素排出量の削減を推進してまいります。

また、生産性の向上と労働負担の軽減を図るスマート農業技術の導入支援や醸造用ぶどうなどの新規農作物の導入

および拡大、「八雲町家畜伝染病自衛防疫組合」を中心とした家畜衛生対策の強化などを継続して進め、生産の効率化、農畜産物のブランド化、消費拡大対策等を推進してまいります。

林業については、森林資源の有効活用のみではなく、森林を二酸化炭素吸収による地球温暖化の緩和や治山・治水等の環境対策を担う重要な資産と位置づけ、森林が持つ多面的・公益的な機能が十分に発揮されるよう、民有林や町有林の適正管理に努めるとともに、森林認証制度の積極的な活用や森林・林業への理解を深める木育活動等を実施してまいります。

また、「八雲町林業振興ビジョン」に基づき、森林環境譲与税活用による未整備森林対策、公共建築物等への地域材利用の拡大、林業経営・管理の集約化、機械化等を推進するとともに、多様な担い手対策や生産基盤としての路網整備等を行い、川上から川下までの取り組みを総合的に推進してまいります。